

May 19, 2009

JAWIC

Seattle News

米国 4 月の住宅着工、過去最低 45.8 万戸

商務省発表の 4 月住宅着工は年率 45.8 万戸で、前月の 52.5 万戸に比べ 12.8%の減少、2008 年 4 月の 100.1 万戸に比べ-54.2%と、史上最低を記録した本年 1 月の 48.8 万戸を下回る最低水準となった。月々の動きの激しい集合住宅が前月比-46.1%となったことが着工数を引下げたが、一戸建ては年率 36.8 万戸で前月比+2.8%。地域別には西部で前月比+42.5%となったが、他の地域では 20-30%の落込み。主力である一戸建ての着工数が 2 カ月連続微増となったことを関係者は好材料と捉えている。先行指標となる建築許可数は年率 49.4 万戸で前月比-3.3%、前年同月比では-50.2%と依然として低水準。うち一戸建ては 37.3 万戸で前月比+3.6%。

リアルティートラック社によれば、4 月のフォクロージャー手続開始件数は 34.2 万件（前年同月比+32%）で、これは同社が 2005 年 1 月に記録を取り始めて以来の最高水準。カリフォルニア州がトップで（96,560 件）、次いではフロリダ州（64,588 件）。上位 10 州で全体の 75%を占めている（カリフォルニア、フロリダ、ネバダ、アリゾナ、イリノイ、オハイオ、ジョージア、テキサス、ミシガン、バージニア）。フォクロージャーの増加、住宅価格の引続く低落、販売住宅在庫率の高さ、失業率の上昇等から、住宅部門の本格的な回復はまだまだ先のこととなりそうである。